

鳥取県病原微生物検出情報

(令和8年8月検出分 検体採取 令和8年6月～8月)

令和8年9月18日

鳥取県衛生環境研究所

1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体40件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

○検査対象（ウイルス）

ライノ、ヒトメタニューモ、インフルエンザ-A型及びB型、パラインフルエンザ1-4、RS-A型及びB型、ヒトボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナNL63、コロナOC43

○検査対象（細菌）

マイコプラズマ

○検出結果

40件中34検体（85％）から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：13件、ヒトボカ：4件、ヒトメタニューモ：3件、RS-A：4件、SARS-CoV-2：7件、パラインフルエンザ1型：4件、パラインフルエンザ3型：6件、エンテロ：2件、インフルエンザA型：1件、マイコプラズマ：1件であった。令和8年1月から令和8年8月検出分と合わせた年齢別検出数は表1のとおり（ただし、検出件数は重複検出を含む。）。

表1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和8年1月～8月検出分）

病原体年齢別検出数(8月検出数/累積)																
年齢	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≤		合計	
標本数	12	174		10		10	5	34	6	53	11	77	6	40	40	398
ライノ	9	103		3		1		9	2	12	1	12	1	3	13	143
ヒトボカ	4	38		1										1	4	40
ヒトメタニューモ	1	11					1	3	1	4		6		4	3	28
RS-A	3	7									1	2		3	4	12
RS-B		4								1		3		4		12
SARS-CoV-2		5					1	1	1	4	4	15	1	7	7	32
パラインフルエンザ1	2	6						1			1	1	1	1	4	9
パラインフルエンザ2																
パラインフルエンザ3	1	2							1	2	2	4	2	2	6	10
パラインフルエンザ4				1												1
アデノ		19										1				20
エンテロ	1	7								1	1	1			2	9
インフルエンザA型		6		2		2	1	4		3		2		1	1	20
インフルエンザB型		3		4		4		4		3		5		1		24
コロナNL63		7								2		1				10
コロナOC43		21						4		5		6		2		38
マイコプラズマ							1	2							1	2
検出せず		19		1		3	1	7	1	16	2	22	2	13	6	81

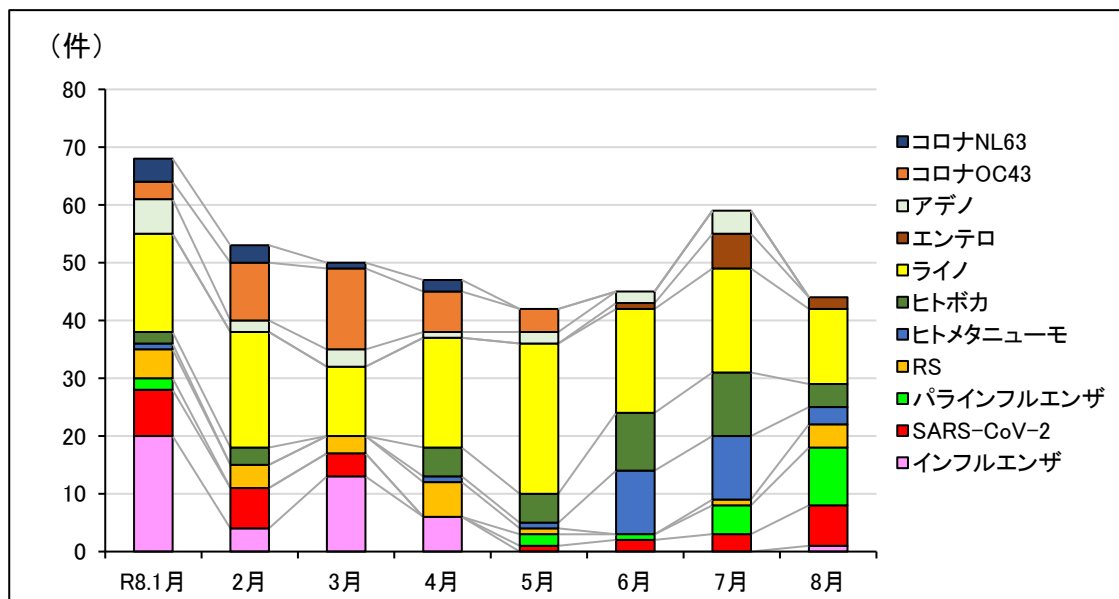


図 1. 急性呼吸器感染症の月別ウイルス検出状況（令和 8 年 1 月～8 月検出分）

インフルエンザ 1 件は、A 型（H1N1）pdm2009（タミフル感受性）であった。A 型（H1N1）pdm2009 は、現在国内で流行の中心となっている型です。

SARS-CoV-2 の系統は表 2 及び図 2 に示すとおり、SS. 2 が 5 件、RK. 1 が 2 件、RS. 1 が 1 件、RW. 1. 1 が 1 件であった。SS. 2 と RS. 1 は BA. 3. 2 系統、RK. 1 は NB. 1. 8. 1 系統、RW. 1. 1 は XFJ 系統の下位系統であった。国立感染症研究所が公開している全国のゲノムサーベイランスによる系統別検出状況でも、BA. 3. 2 系統が大半を占めている。

表 2. SARS-CoV-2 ゲノム解析結果（令和 8 年 8 月検出分）

検体採取年月日	年齢	型別
R8. 7. 3	60 代	SS. 2
R8. 7. 17	50 代	SS. 2
R8. 7. 30	60 代	RK. 1
R8. 7. 30	30 代	SS. 2
R8. 7. 31	70 代	SS. 2
R8. 8. 4	70 代	SS. 2
R8. 8. 6	70 代	RK. 1
R8. 8. 7	50 代	RS. 1
R8. 8. 17	80 歳以上	RW. 1. 1

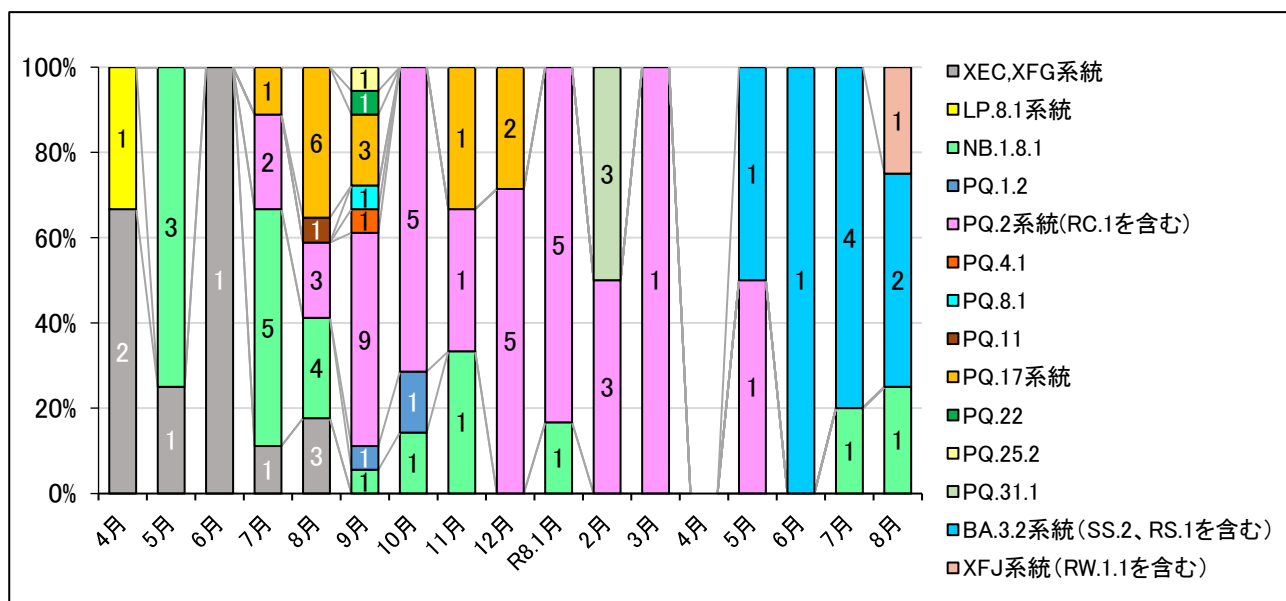


図 2. 月別 SARS-CoV-2 ゲノム解析結果（令和 7 年 4 月～令和 8 年 8 月検出分）

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の 4 件について検査を行ったところ、ノロウイルス GⅡが 1 件検出され、遺伝子型は GⅡ. P16-GⅡ. 4 であった。この他、アデノウイルスの型不明が 1 件、アストロウイルスが 1 件検出された。

3 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名が A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の 4 件について検査を行ったところ、A 群溶血性レンサ球菌が 2 件（T 型別 3 型：1 件、B3264：1 件）分離された。3 型と B3264 型は咽頭炎で検出される型である。

4 RS ウイルス感染症

臨床診断名が RS ウイルス感染症の 1 件について検査を行ったところ、A 型が 1 件検出された。症状は発熱、咳嗽、鼻汁であった。

5 手足口病

臨床診断名が手足口病の 3 件について検査を行ったところ、エンテロウイルスが 3 件（CA6 型：1 件、型不明：2 件）検出された。CA6 型は手足口病の原因となるウイルスである。

6 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の 2 症例（3 検体）について検査を行ったところ、エンテロウイルス（ライノウイルスは含まず）、アデノウイルス、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルスのいずれのウイルスも検出されなかった。

7 水痘

臨床診断名が水痘の 1 件について検査を行ったところ、1 件から水痘帯状疱疹ウイルスが検出された。